



災害への備え



災害エスノグラフィー



災害図上訓練 (DIG)



応急手当等



赤十字防災・減災セミナー

災害から、あなたと周囲の人々のいのちを守るように、
「赤十字防災・減災セミナー」に参加してみませんか？

対象 町内会・自治会から小学校区程度までを範囲とし、原則として一般成人の方

会場 地域のコミュニティセンター、公民館、学校体育館等

内容 「災害への備え」「災害エスノグラフィー」「防災マップ作り」
「応急手当等」から必要なものを選択・組み合わせることが可能

詳細は裏面をご覧ください。

「自助」と「共助」の力を高め、人々のいのちを守りたい

日本赤十字社は、赤十字防災セミナーを通じて、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることで、地域の住民の方々が自ら、災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目指します。

今後発生が予測される 大規模災害に対して

例えば・・・

日本赤十字社は、過去の災害から得た教訓を踏まえ、将来の大規模災害から人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災教育が極めて重要だと考えています。

	南海トラフ地震	首都直下地震
今後30年以内の発生確率	80% 平成28年(2016年)に発生した熊本地震の発生確率は発生時点では、ほぼ0~0.9%でした。 地震はいつ起こるかわかりません。	70%
最大想定死者数	最大32万3千人	最大2万3千人

内閣府資料、中央防災会議資料、地震調査研究推進本部資料による

赤十字防災セミナーの目的

- 1 災害への備え (約45分間)**
災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- 2 災害エスノグラフィー (約120分間)**
大規模災害の被災者の経験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。
- 3 防災マップ作り (約120分間)**
地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- 4 応急手当等 (約60分間)**
身近なものを用いた応急手当(搬送含む)をはじめ、一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた除細動)等を学ぶ。

※今後も新規カリキュラムの追加を予定しています。

必要なカリキュラムを選択・組み合わせることで実施

地域住民の
防災・減災に関する
知識・意識・技術の
普及向上

地域における
災害発生時の
応急対応にあたる
リーダー層の育成



Q

日本赤十字社がなぜ地域住民の防災教育を？

A

これまで日本赤十字社は、長年に渡り救護活動の経験を蓄積してきました。各自治体が実施する防災対策と連携しながら、赤十字のノウハウを活用して、全国に約30万近く存在する地縁団体(自治会、町内会)のレベルから、地域の「自助」と「共助」の力をさらに高められるようサポートします。



赤十字防災セミナーに関するお問い合わせ先

日本赤十字社 和歌山県支部 事業推進課

電話 073-422-7141

E-Mail jigyo@wakayama.jrc.or.jp



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society